



経営を次のステージへ。土台づくりはここから
“**農業版MBA**”をオンラインで全国へ展開



AFJ日本農業経営大学校

AFJ日本農業経営大学校

オンラインスクール **経営マスターコース** (農業版MBA)



受講案内

第1弾

「**経営戦略**」
「**マーケティング**」

受講者を
募集します！

農業界は今、世代交代や大規模化、IT技術の進歩、SDGsへの関心の高まりなどの流れを受け、大きな変革期にあります。そこで求められる「経営力」は、高度化の一途をたどっています。

AFJ日本農業経営大学校は、農業経営者を志す人たちに“農業版MBA”を10年間にわたり提供し、地域で活躍できる経営者の育成をしてきました。その実績を活かし、これまで培ってきた経営力養成のノウハウを、これからは、オンラインで全国へ発信します。

いつでも、だれでも、農業の現場に向き合いながら学ぶことができるオンラインスクール。経営を一步先に進めたいすべての方に、学びの扉が開かれています。

私たちはこれからも、多様な農業経営の実現に向けた土台づくりを支援します。

こんな方におすすめです

既存のプログラムでは満足できず、経営にかかるさらに高度な専門教育を受けたい人

切磋琢磨する仲間とともに刺激を受けながら、次の成長を目指したい人

距離や時間に制限されず、仕事と両立しながら学びたい人

経営幹部・マネジメント人材の育成プログラムとしてもご活用いただけます。

(AFJ日本農業経営大学校運営団体)

一般社団法人アグリフューチャー・ジャパン

カリキュラムマップ

AFJ日本農業経営大学の経営マスターコース(農業版MBA)は、「経営戦略」「マーケティング」「マネジメント」「ファイナンス」の4領域から構成されます。これらは、世界のMBAプログラムにも共通する内容ですが、本コースでは、特に農業という産業特性を踏まえながら、ヒト・モノ・カネに関する知識やスキルを体系的に習得できるよう工夫されており、生産から流通、販売に至る多様な農業経営を実現します。

※ 講座は順次開講します。
開講時期は予定です。

※ 本経営マスターコースは、学位を取得できるものではありません。



講座1
経営戦略

全6回
23年9月
開講予定

講座2
マーケティング

全6回
23年10月
開講予定

講座3
**組織
マネジメント**

全5回
23年冬 開講予定

講座4
**会計・
ファイナンス**

全6回
24年開講予定

**土台となる経営力を
養成する4分野**

経営マスターコース(農業版MBA)の 4つの特長



1 アクティブ・ラーニングを 主としたオリジナルMBA

- ・ 農・食産業に焦点を当てた、独自のMBAプログラムです。
- ・ 長年、農業経営者の育成に携わってきた本校独自の学びを、豊富なケーススタディを通してアクティブ・ラーニングで学びます。

2 講師は第一線で活躍する 現役の実務家

- ・ 講師陣は、第一線で活躍する実務家・コンサルタントが中心。
- ・ 体系的かつ深い経営知識と豊富な実務経験を持つプロフェッショナルが、ディスカッション中心の授業をリードします。

3 食農関連企業及び農業者との ネットワークや交流機会

- ・ 農業者だけでなく、食農関連企業・団体の職員、普及指導員等、幅広い属性の方々に受講していただけるコースです。
- ・ 農・食産業に携わる会員企業をはじめ、全国の農業者とのネットワークを有しており、イベント等交流の機会も検討しています。

4 1講座から受講可能で、 働きながら学べる

- ・ 単科制なので、思い立ったときに1講座から学び始めることができます。
- ・ 講義はフルオンラインだから、実践的な授業を、働きながら、どこからでも受講可能。忙しい農業者にもチャンスが広がります。

講座1

変化に強い経営を実践する 経営戦略

- 農業は、天候をはじめとして、販売価格、資材価格等多数の変動要素が存在する産業です。こうした不確実性の高い状況下、長期に亘り経営の持続性を確保していくためには、あらゆる環境変化に対して適応していく柔軟性が重要です。
- 本講座では、農業経営者、あるいは経営幹部として押さえておくべき代表的なフレームワーク等の技術を用いながら、食農関連企業のケーススタディに取り組むことで経営戦略の全体像を理解します。また、激変する環境下で農業ビジネスを展開していくための戦略的思考力を養います。

カリキュラム

	Day 1	Day 2	Day 3	Day 4	Day 5	Day 6
日程	9月6日(水) 19:00~	9月13日(水) 19:00~	9月20日(水) 19:00~	9月27日(水) 19:00~	10月4日(水) 19:00~	10月11日(水) 19:00~
テーマ	経営課題の把握	経営資源の配分	事業経済性と競争戦略	成長戦略	戦略実行とコントロール	総仕上げ
ケース (事例研究)*	農業法人A社の今後の事業展開を考える	定量的な経営目標の立案	牧之原茶問屋産地レベルでの事業戦略	パークコーポレーション(青山フラワーマーケット)の今後の展望	大塚家具の中期経営計画	OWNケース(受講者事例)

※ ケースは、AFJ日本農業経営大学校オリジナル、あるいは、国内ビジネススクールの教材を使用します。

※ カリキュラムは現時点での予定です。今後、内容が変更となることがあります。

申込期間 2023年5月29日(月)~8月4日(金)

受講料 50,000円(税込) 募集申込はこちらから→



Value 1

適切な経営判断を下すための フレームワークが身に付く

限られた定性・定量情報をもとに、フレームワーク等の技術を活用しながら、不確実性を伴う農業において合理的な判断を下すトレーニングを行います。

Value 2

事例に基づく実践学習で 柔軟性や応用力が身に付く

競争環境、顧客行動等の変化に直面した企業事例について議論することを通じて、刻一刻と変わる経営環境の変化への対処プロセスについて理解します。

講座2

顧客価値創造と実践 マーケティング

- 人々の価値観・食生活が多様化する昨今において、顧客ニーズを意識することなく経営の安定を実現することは見込めません。マーケティングとは顧客にとっての価値を創造し、これらを効果的に提案をしていくプロセスのことです。
- 本講座では、農業者にとって必要なマーケティング・プロセスを理解し、変化する世の中のニーズに応じていくための戦略的思考力を身に付けます。

カリキュラム

	Day 1	Day 2	Day 3	Day 4	Day 5	Day 6
日程	10月18日(水) 19:00~	10月25日(水) 19:00~	11月1日(水) 19:00~	11月8日(水) 19:00~	11月15日(水) 19:00~	11月22日(水) 19:00~
テーマ	マーケティングプロセス	バリューチェーン・流通戦略	製品戦略・顧客価値	ブランドコミュニケーション	プライシング	総仕上げ
ケース (事例研究)*	サザコーヒー差別化と物語にこだわる茨城の名店	羽田市場水産物の流通革命	クオカブランニングお客様起点の経営	飛露喜 廣木酒造本店の挑戦	高級食パンブームの変遷	OWNケース(受講者事例)

※ ケースは、AFJ日本農業経営大学校オリジナル、あるいは、国内ビジネススクールの教材を使用します。

※ カリキュラムは現時点での予定です。今後、内容が変更となることがあります。

申込期間 2023年5月29日(月)~8月4日(金)

受講料 50,000円(税込) 募集申込はこちらから→



Value 1

顧客を意識した機動的な 経営が実践できる

市場環境の変化や顧客の真のニーズを見出し、アプローチしていくための一連のマーケティング・プロセスを、事例研究を通じて体感的に理解します。

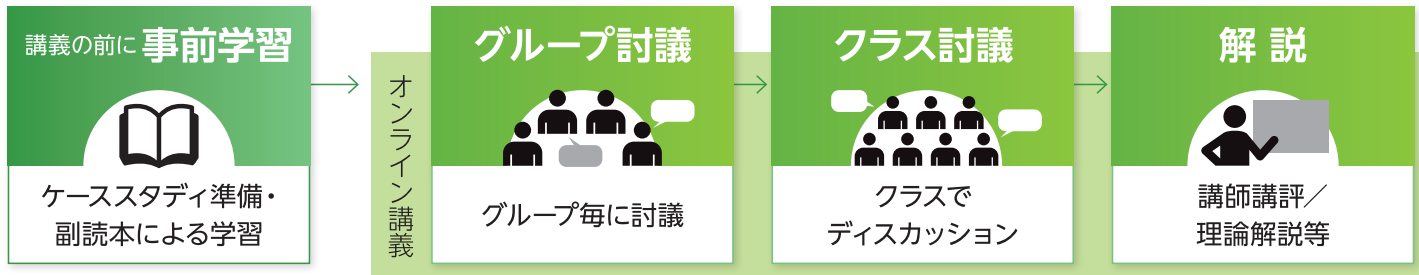
Value 2

事例を研究することで 実践力を得ることができる

ブランド化や高付加価値化を掲げる農業界で求められる商品戦略の在り方を、豊富なケーススタディを通じて考察していきます。

講義の進め方

講義は1回90分。ケースを事前に読み込むことで、ディスカッションに多くの時間を割くことができ、実践力が身に付きます。



- ※受講できなかった場合には、アーカイブで視聴可能です。
- ※受講前に事前のオリエンテーションがあります。

講師

折笠俊輔

おりかさ しゅんすけ

理論と現場の両視点から
農業経営を
次のステージへ導きます

福島県郡山市出身。早稲田大学商学部卒業、筑波大学大学院ビジネス科学研究科修士課程修了。精密機器メーカーを経て、2010年に(公財)流通経済研究所に入所。現在、農業・環境・地域部門主席研究員。農林水産物の流通・マーケティングの第一人者。6次産業化の販路開拓等、農業経営に幅広く精通し、理論と現場の両方の視点から研究活動・コンサルティングに従事する。



募集要項

対象

- ・ 農業者全般
(主に経営者、経営の中核を担う幹部職員及びその候補者)
- ・ その他農業経営を学びたい食農関連企業・団体の職員、普及指導員の方々等

定員 20名

※定員は目安であり、応募状況によっては定員を変更することがあります。

申込方法

本校HPにアクセスのうえ、所定のフォームによりお申込みをお願いいたします。受講料・申込期間等の諸条件については、中面のQRコードから各講座の募集案内(HP等)をご覧ください。

- 1 受講された方に対して、アンケート、取材、インタビュー等の協力をお願いすることがあります。
- 2 終了した受講者には、後日、修了証を郵送いたします。
- 3 キャンセルポリシー: 申込者のご都合による解約については、申込期間の最終日までは、キャンセル料を生じることなくこれを認めます。申込期間最終日を超過してからの解約については、以下のキャンセル料が発生します(詳細は受講規約をご覧ください)
 - ・ 開講日の10営業日前までの申し出: 受講料の50%
 - ・ 開講日の10営業日前以降の申し出: 受講料の100%

問い合わせ先

AFJ日本農業経営大学校

(運営法人: 一般社団法人アグリフューチャー・ジャパン)

〒108-0075

東京都港区港南2-10-13

農林中央金庫品川研修センター5階

TEL: 03-5781-3751

Mail: application-online@afj.or.jp



↑Webページはこちら

一般社団法人アグリフューチャー・ジャパンとは

日本の農業の未来を担う経営者を育成することを目的に設立され、産業界・農業界・学界のオールジャパン体制のもと、業界の垣根を超えた幅広い企業・団体の会員 の皆様のご協力により運営している一般社団法人です。

- ※農家・農業法人、農業関係団体、食農関連企業、総合商社、ゼネコン、私鉄、通信、金融機関など
- 正会員: 52 会員、准会員: 176 会員 (2023 年3月現在)

大学・研究機関・有識者

学界

農業経営体及び
関連団体

農業界

産業界

幅広い業界の
企業・団体

AgriFuture Japan

挑む人に、全力。